

いけざわこどもクリニック予定表

- ・ 木曜・土曜午後から休診ですが、かかりつけの患者さんの急患対応は行います。お薬は限定され、院内処方一日です。
- ・ 平日夜間急患は、21-22時にご連絡ください。
- ・ 不在、かかりつけ以外の方は、日赤・地域医療センターへお願いします。(時間外は紹介状なしで受診できます)

月	火	水	木 午後休診	金	土 午後休診	日 急患のみ対応
	6月				12:30まで診察	休診
5月30日	5月31日	1日 午後診察 15:30から開始	2日 ワクチン中止:乳児健診	3日	4日 西合志町の会合	5日 東小運動会
6日 夜:不在	7日	8日 午後診察 15:30から開始	9日 夜不在	10日	11日	12日(当番医) アイチケットでの 受付はできません
13日	14日	15日	16日 午後不在 (夜:勉強会)	17日 (夜:勉強会)	18日 18~23 医療センター当番	19日
20日	21日 午後診察:夜不在 15:30から開始	22日	23日	24日	25日 東京	26日 夜不在
27日	28日	29日	30日(休診)	7月1日 9:30から診察開始	7月2日 夜;会合不在	7月3日 10~14不在

アイチケット受付時間 朝:8:30~11:30 昼:15:00~18:00
19:00以降の診察予定になる時にはアイチケット早めに終了します

- * 午前・午後、予約人数が多いときは、
* 予約時間を早めに終了する場合がありますのでご了承下さい**
~診察予約が、携帯・パソコン(当日順番取り)で出来るようになりました~
(携帯予約受付可能時間を必ずご確認ください)

まず、登録をしましょう!

メールアドレス get1189@paa.jp を入力します
送信すると1~2秒で返事がきます(返信メールで、進行具合もわかります)
受信メールの <http://paa.jp/t/118901/> をおします
「ブックマーク」または「お気に入り」に登録します
お知らせを必ずお読みください。大切なことが書いてあります
2005年度中に時間外受付もアイチケットで行う予定です。是非登録下さい。



バーコードリーダーで
アクセスできます

予約するには?

1. まず、混雑の具合をみます!! アイチケットの画面で「いまどう」をおします
(呼び出されている番号・現在の待ち人数・待ち時間)が表示されています[注意:予約の取れる番号ではありません]
(予約時間に間に合わない時はキャンセルとなる場合があります)
* 予約が2~3人で待ち時間が少ない時は、直接来られてください
2. 予約をする時は「すぐいく」をおします
お子様の お名前・生年月日・携帯の電話番号を入力し受付します
(兄弟姉妹は いけざわ つよし こういち とひらがな・連名でOKです)
3. 「確認画面を見る」「最新を見る」をおすと(1~2分かかかる時があります)受付完了画面になります
受付番号 番、待ち時間が表示されます (5番前もしくは約15分前までにお越し下さい)
* あなたの受付番号をご確認して下さい
4. 自分の待ち状況を確認する時は「まだかな」をみます
受付番号を入力してください、呼出番号、待ち人数、待ち時間の進行状況がわかります
(受付番号を忘れられた場合は、受付番号下の電話番号でもご確認できます)



熊本にも、もうすぐ梅雨がやってきます。しかし何故か外来はまだ冬の延長のような混雑、私は毎朝7時半頃外の掃除を始めます。次第にドアの前に並び始める患者さんの視線を背中に感じながら、必死に急いで掃いていますが、急患でない限り、ドアは8時にしか開きません。どうかご了承下さい。月刊誌「家族時間」や「ワイヤーママ」に出たせいでしょうか？新患の方も多いように感じます。一人でも多くの患者さんを診察できるようスタッフ一同頑張っておりますので、イチケツ御利用の方は「まだかな？」「いまどう？」のこまめなチェックをお願い致します。無論、インターネット御利用でない方は今まで通り直接来院してください。症状のひどい方は早めにスタッフにお申しつけください。

慌てないで、といわれても



子供の救急は親がパニックになっている場合が多く、適切な処置をすれば、自宅での療養で済むケースも少なくありません。しかし、いくら慌てない慌てないと言われても、心配で慌ててしまうのが親心。私は、かつて未熟児のICUで働いていました。小児の痙攣も初めて見たときは驚き慌てましたが、それが日常茶飯事におおると、かなり精神的余裕もうまれ、やがて全く動じなくなっていきました。しかし、それなのに、自分の子供の場合は全く別だったのです。それは長男がまだ1歳半、熱が続いた2日目の夜中の出来事でした。高熱で唸る息子の傍でうとうととしてしまった時、突然息子の体は硬直し白目をむいたのです！初めてみるわが子の姿に、私はただうろたえ涙があふれてきます。すると「泣くな！時計を見なさい！」普段大声を出さない主人の叱るような声に驚き、やっと我にかえると、「とまれ、とまれ」と祈るように時間をかぞえました。忘れもしない、57秒・・・。1分にも満たないその時間が、私達にはとてつもなく長く長く感じられました。

その後、深夜の救急外来でお世話になり、高熱も続いていたためそのまま精査入院することに。

そして翌朝の教授回診の時です。まだ若い医師が教授に病状と経過を説明していましたが、

教授に「痙攣は何秒？」と聞かれ

「・・・えーっと・・・」とその若い医師がカルテをぺらぺらめくっている時、私は思わず答えてしまいました。

「57秒です」

教授の後ろに立つ、4、5人の医師達が「ほー」と感心したような声を出しうなづいています。

「さすが、小児科医の奥さんですな。うんうん。」教授の言葉に、何だかバツが悪くなりました。だって私は泣いてウロタエていただけなのですから。

私は、子供をもって初めてわかる気持ちに、未だに日々驚いています。必要だから針を刺し血液をとり点滴をする。泣いたってしょうがない、それがその子のためだから、と割り切っていた独身の頃とは明らかに違う「親心」を、子供に恵まれたことで、知ることができました。

「タバコを誤飲しました！！」泣きながら車を走らせてくる母親、喉に刺さった魚の骨がセッシでやっと取れた瞬間、「よかったねー」と大粒の涙をこぼす母親、初めての痙攣に泣きながら子供を抱えてくる母親、夜の時間外は特に不安が増す為か、沢山の涙に出会います。そのたびに私達はまるで心が洗われるような気持ちになります。子供を思って流す涙の美しさ！今、人の親になってこそ、気付けたことなのかもしれませぬ。



救急車で運ばれてきたり、外来で突然痙攣を起こしたり、10年の主婦生活の後に思いもよらず、また私は痙攣を何度も見るような現場にいます。やはり動じることはありませんが、いつも必ず思い出すのが「泣くな、時計をみなさい！」という主人のあの大きな声。だから冷静に処置をこなしていても、かたわらで心配そうに泣く母親の気持ちは、あの頃の自分と重なって痛いほど分かるのです。

わが子を思って、泣いたり慌てたりする、そんなあたりまえの「親心」も支えられるクリニックでありたいと、私たちは心から願っています。



文責 池澤 千恵子

産休で5月9日にお休みに入った看護師の高来が
5月24日に第2子を無事出産しました。
少し早かった為、小さかったようですが
母子ともに元気です。しばらくお休みしますが
冬にはまた元気に仕事復帰できると思います。

